

10月の県内景況は、前月よりやや改善傾向にあるが、先行きが懸念される。新県政に期待。

情報連絡員による平成26年10月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は18.7%（前月比+0.3）となっており、「横這い」は39.0%（同+0.7）、「低調」とするところが42.3%（同-1.0）、業界全体の「景況感DI」は-23.7（同-1.3）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「雇用人員」の項目において前月と比較して改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、建設業は「快晴」、鉄工機械製造業、その他の製造業、サービス業は「曇り」、その他の業種はすべて「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、25.4%（前月比+0.4）と増加しております。好転、やや好転の見込みとの回答が8.5%（前月比-6.5）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答5件）（製造業3、非製造業2）。また、変わらないが、66.1%（前月比+6.1）と増加しております。

平成26年10月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98.3%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☁	-28.57	☁	☀	☀	☂	☁	☁	☁	☁	☁	☂
繊維製品製造	☁	0.00	☁	☂	☀	☁	☁	☂	☁	☂	☁	☂
木材製品製造	☁	-75.00	☁	☂	☂	☂	☀	☂	☁	☀	☂	☂
鉄工機械製造	☁	20.00	☁	☀	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
その他の製造	☀	-14.29	☁	☀	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
卸売業	☁	-50.00	☁	☁	☂	☁	☀	☁	☁	☁	☂	☂
小売業	☁	0.00	☁	☀	☁	☀	☀	☀	☁	☁	☂	☂
商店街	☀	0.00	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☂
サービス業	☀	-42.86	☀	☀	☁	☂	☀	☁	☀	☀	☁	☁
建設業	☁	20.00	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀
運輸業	☁	-33.33	☁	☁	☁	☁	☁	☂	☁	☂	☁	☂

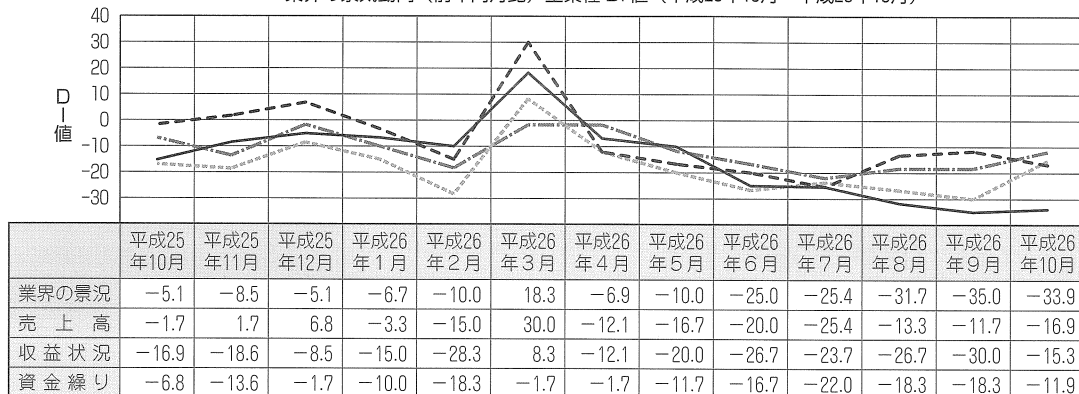
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- ☀ 快晴 30以上
- ☀ はれ 10～30未満
- ☁ うすぐもり -10～10未満
- ☁ くもり -30～-10未満
- ☂ 雨 -50～-30未満
- ☂大雨 -50未満

業界の景況動向（前年同月比）全業種DI値（平成25年10月～平成26年10月）



食料品製造業

<漬物>

円安が全体的に仕入れ、経費の面で非常に厳しくなっている。売上も徐々に厳しくなっている感覚である。得意先の倒産が多くなってきている。

<味噌醤油>

相変わらず味噌・醤油の出荷数量は増加の傾向が見られず、昨年度と横ばいとなっている。平成25年度が前年度と比べ大幅に減少している状況がそのままの数量となっている。風評被害はまさに深刻化している現状。厳しい状況の中、組合員は耐え続け、その払しょくに向かって必死な思いで頑張っている。

<酒造>

日本酒の需要期に入り、売上も増加し明るい兆しだが、年間を通すとかなり厳しい状況が続いている。吟醸・純米は好調である。

<食品団地>

原料・原油の価格は依然高止まりしており、また、3連休の荒天の影響等もあり、売上は前年対比で減少が続いている。その中で、全国規模のイベントが行われたり、消費動向には少し前向きな変化が見えつつある。

縫製品・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の生産について、10月末がピークで売上も好況である。しかし、来月以降の下落が懸念される。

<縫製品>

冬物と夏物の生産期の間にあり、仕事の確保に苦労した。

木材・木製品製造業

<製材業>

期待された秋需の動きはなく、製品需要・価格は相変わらず伸び悩んでおり、製材工場における丸太の手当ても様子見となっている。

<外材輸入>

消費税増税後の反動減により、市況低迷の荷動きの停滞が続いており、為替円安も加わり厳しい状況が続いている。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール>

紙器、貼箱業界は相変わらず厳しい経営環境の中、4月からの消費税増税、それに伴う価格の転嫁、値上げの問題等各社何かと頭の痛い問題が蓄積されている。中には8月、9月が残業しても消化できないほど受注を抱え、下請にまわす企業もあったと聞く。原材料については、一部値上げがあるようだが、全体的にはそれほど強い形ではないようだ。

印刷業

<印刷>

10月は福島県知事選挙があり、スポット的に売上増加した組合員が見られた。しかしながら長期的には全体的に仕事が減少しており、競争は激化している。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

相変わらず客単価が低い状態での売上が続いている。

<碎石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約±0%
2. 当月売上高の昨年同月比 約18%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約17%の増
4. 原因・状況 先月に引き続き、除染工事関連と生コン工場等に納入し売上増となった。

<生コン>

平成26年10月の組合員生コン出荷数量は、179,708 m³と対前年同月比6.3%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比23.8%の増、官公需が6.9%の減であった。

■民需の動向

対前年同月比 23.8%の増

① 対前年同月比増加地区

<白河地区> 19.0%の増

新白河信金ビル建築工事、東北道中央防護柵更新・橋梁補修工事等

<いわき地区> 17.2%の増

ヨークベニマル上荒川店新築、工場増築、県漁連冷凍冷蔵施設建設工事等

<相双地区> 131%の増

原発保安対策工事、常磐道双葉地区舗装工事、広野火災消波ブロック工事等

<会津地区> 19.0%の増

老人福祉施設建設工事、会津中央病院増築工事等

② 対前年同月比減少地区

<県北地区> 7.2%の減

土湯小発電所建設工事、老人ホーム建設工事等

<県中地区> 4.4%の減

マンション新築工事、南東北病院管理棟新設、物流センター工事等

■官公需の動向

対前年同月比 6.9%の減

① 対前年同月比増加地区

<県北地区> 78.4%の増

R115馬館山トンネル、伊達町仮設焼却炉、福大図書館新営増築工事等

<県中地区> 20.6%の増

郡山市中央公民館改築工事、環境創造センター、復興公営住宅建設工事等

<白河地区> 17.2%の増

白河市民文化会館建設、白河中央中学校建設、藤沼湖地区災害復旧工事等

② 対前年同月比減少地区

<いわき地区> 11.9%の減

小名浜港東港地区護岸築造外工事、復興公営住宅建設工事等

<相双地区> 26.5%の減

八木沢トンネル工事、海岸保全施設整備工事、減容化施設工事等

<会津地区> 37.7%の減

鶴城小学校新築工事、湯川村新庁舎建設工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント関連業界は、今月も売上高、収益状況とも前月と同様に厳しい状況が続いている。見積もり引き合いについては、来年予定の集中定修工事案件の増加がみられ、前月よりやや改善されている傾向にある。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

先月と比較して大きな変化はないが、引き続き全体としては堅調に推移している。現在、当該地域においては除染が行われているが、これに伴う「モノ」の動きや消費の拡大も要因と考えている。人手不足は多くの業種で感じているが、復興需要後のことや消費増税による景気後退局面が懸念され採用を控えるケースも見受けられる。

<再生資源>

10月は2度の台風の上陸もあり、週末は全国的に荒れた天気であったが、全体的には好天に恵まれた。古紙市場において、内外の需要の伸びを期待しているが、発生は相変わらず低調で、回収量が伸びない。鉄スクラップも市場は弱気ムードで低調である。10月末になり、日銀の追加金融緩和で今後の株価の上昇や円安の促進が進み、市場に影響を及ぼすことが考えられる。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

10月は前月比、前年同月比とも売上増となった。来店客数は若干落ちている。飲食店は前月と同様、前月比、前年同月比ともに伸びている。

<石油>

10月は元売仕切価格が毎週値下がりとなり、店頭小売価格はその対応に追われた。これにより、小売価格も月初と比較し、5～6円低下しているものの、依然として需要回復には届かず、厳しい経営状況となっている。

<青果>

前月と比べ、単価は例年通りとなった。また、昨年に続き、県内産の山菜、特にきのこの取り扱いが放射能災害によりできず、取扱、売上の減少となった。納入業者は県外産のものを取り寄せしての対応となった。今月後半から始まる会津みしらす柿も原産以降取り扱いが減少し、来月取り扱い増もあまり期待できない。

<電機>

各地での合展、個展があり、店の格差がでている。今後の合展、個展に期待している。

商店街

<福島市>

10月は、天候にも恵まれ、また様々なイベントが開催され、全体的に賑わいが感じられた。また、県外か

らのお客様も多く訪れていた様子。地元向けのイベントと観光・仕事での来市者との相乗効果があったことで、ひと月を通して賑わいがあったものと思われる。

<郡山市>

10月は、郡山で一大イベントB-1グランプリがあり、売上は若干上昇したが、商店街の来客数の増加というよりも、ホテルの宿泊の増加の方が影響が大きかったようだ。B-1グランプリは、商店街でも同日開催のイベントがあり、大きく集客が増加したとは言えないが、相乗効果は様々な形であったようだ。それよりも、景気の回復傾向がなかなか見えないのが気にかかる。

<南相馬市>

11月3日にイベントが開催された。秋晴れの中、駅前通りを歩行者天国にし、市商店街連合会と協力して実施した。人出は昨年より多く、10,000人を越える大盛況であった。

<会津若松市>

恒例の「まちなか子供夢駅伝」が開催され、晴天にも恵まれ、にぎやかだった。イベントの開催によって、商店街への関心が高まることを願っている。

<いわき市>

天候では今月2回の台風の影響はあったが、おおむね好天に恵まれた。しかしお客様の来店が少なく各業種ともに厳しい10月だった様子。恒例の“街なかコンサート”は暖かい2日間でも多くの来街者の方々にぎわったが、イベント終了後はパタリと足が止まった。何となくお客様のサイフの紐が固いと感じる10月であった。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

昨年と比べて復興支援がらみの宿泊が減っている。あの東日本大震災は風化しつつある。

(いわき湯本温泉)

復興関係者の宿泊人数が減少しつつある中、観光客はまだまだ震災前の人数には満たない状態である。

<理容業>

特に目立ったこともなく、例年通りの状況のようだ。2週続けて週末に台風がきて、天候が悪くどの店も売上は伸びなかったようだ。後半はすっかり秋めいて朝夕は肌寒さも感じるようになり、夏メニューも終わりプラス・アルファもなくなった。涼しくなるにつれ来店頻度が減るので暇になっていく。これは毎年のことだ。いろいろ努力しているが、思うようにいかないがあきらめず髪を切らなくても来店してくれるような癒しのメニューを開発するなど創意工夫で頑張ることを進めている。

<廃棄物収集運搬業>

景気動向はいい方向になっているように中央では言っているが、地元では実感がない。震災関連事業も若干はあるが、短期的要素でしかないので今後の経済的な対応が必要と考える。復興に向けて一部の事業者が新たな展開を行っているが、人の雇用が思うようにいかず、人材不足が大きな課題となっている。

建設業

<建設業>

(県一円)

福島県の資料によると、東日本大震災における工事査定決定数に対する方部別の完了率は会津100%、中通り99%、浜通り53%の状況。

(県南地区)

除染業務が売上の多くを占めている。フレコンバッグ、山砂、黒土の不足は若干解消しているが、依然として不足気味である。一般の工事は8割が建築工事で土木工事が減少したままである。

<管工事>

給水、排水設備申請とも前月比および前年同月累計対比で減少している。

<専門工事>

県知事選挙が開催される中、放射能汚染土壌の中間貯蔵施設や福島第一原発の燃料棒処理の計画遅延や、

鹿兒島川内原子力発電所の再稼働議論等、公約として確約されていたはずの予定や予想が食い違ってきていることが感じられる。復興のための仕事は相変わらず堅調だが、先行きについては状況、環境に不安要素が顕在化しており、復興・再生を期待した新しい県政が福島らしい福島を構築することができることも必要になっていくと思われる。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

売上は全体的には横ばいで推移しているが、企業間における増減の傾向が少しずつ分かれ始めている。特に青果物は減少傾向となってきた。

<ハイヤータクシー>

動きが悪いのが続いており、厳しさが増している。特に夜は動かない。知事選も影響したか。

県政トピックス

2014. 12

避難事業者等支援拠点を開設しました

避難している事業者の皆さん！ お悩みをお聞かせください。

原子力災害のため避難されている中小企業の皆様は
事業を再開したいが再開まで多くの課題がある……
事業を再開したが思うように回っていかない……
どこに相談していいかわからない……

など多くの課題に直面しています。

県では、福島県産業振興センターを通じ、皆様の経営上の悩みに対応するため「福島県避難事業者等支援拠点」を開設しました。

福島県避難事業者等支援拠点

電話 **024-954-4162**

相談無料
秘密厳守

避難事業者の方々への御用聴き活動を通じ経営課題の解決につなげますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

皆さまのもとへ訪問いたします。

福島県産業振興センター郡山事務所「福島県避難事業者等支援拠点」

〒963-8005 郡山市清水台1丁目3番8号 郡山商工会議所会館 4階 403号室

電話 024-954-4162 FAX 024-954-4164

(担当者：諸橋^{もろはし}コーディネーター、小山^{おやま}コーディネーター)

福島県企業間連携事業